

Linux

livemedia-creatorでエラー「The RHSM DBus API is not available.」が表示される

おそらく一部の構築エンジニアを除いて、カスタムISOイメージを作成するシチュエーションはあまり無いと思うが、備忘録として残しておきます。

【対応策】

Rocky Linuxの場合、
livemedia-creator の引数に、**--anaconda-arg="--product Rocky Linux"** を付け加える

【環境/手順】

参考サイト <https://github.com/lunatilia/el8-livemedia-japanese>

※ 手順はほぼサイト通りですが、イメージを作成するOSのバージョンでエラー発生。

Rocky Linux 8.4

では、ソフトウェアの選択で「Server(GUI)」では成功。「最小限インストール」や「Server」はエラー発生。

Rocky Linux 8.6, 8.7では、「最小限インストール」や「Server」「Server(GUI)」エラー発生。

エラー内容(抜粋)

エラーメッセージは次のとおりです:

The RHSM DBus API is not available.

インストーラーを終了します。

最初は、イメージ作成専用のサーバーを、Rocky Linux 8.4 ソフトウェアの選択で「Server(GUI)」で構築し、
dnf -y update で、一気に8.7最新まで上げて作っていたが、以下の記事を見つけて試したらエラー回避できた。

<https://bugzilla.redhat.com/showbug.cgi?id=2034601>

バグとして報告されているようだが、記事内に以下の発言があった。

「try running livemedia-creator with --anaconda-arg="--product CentOS Linux"」

この発言通りに実行したら、ISOイメージが作成出来て、そのISOイメージを使って、VMware上では起動出来た。
この方法が正しいのかどうかまでは不明。

(1) イメージ作成専用のサーバーを準備する。

- ・ VMware WorkStationで構築
- ・ Rocky-8.7-x8664-minimal.iso を利用

キーボード : 日本語

言語サポート: 日本語

時刻と日付 : アジア/東京 タイムゾーン

ソフトウェアの選択: 最小限のインストール

インストール先: 適当に

ただ、イメージ作成で中間ファイル・完成ファイル等で空き容量不足にならない程度。

著者の場合は、仮想ディスク 20GB (SWAP 2GB / 18GB)

※ ホスト名とIPアドレスの設定は、インストール完了後に実施

(2) イメージ作成専用サーバーの諸設定

(2-1) コンソール画面より、

- ・ IPアドレス設定
- ・ ホスト名設定

Linux

(2-2) OSを最新にしておく。

```
# dnf -y update
```

(2-3) selinuxをdisabledに

```
# vi /etc/sysconfig/selinux
```

OS再起動する

(3) イメージ作成の為のインストール

```
# dnf -y install git lorax-lmc-novirt
```

OS再起動

(4) ISOイメージ作成

```
# git clone https://github.com/lunatilia/el8-livemedia-japanese
```

```
# cd el8-livemedia-japanese
```

```
# mv samples/rocky8live-builder .
```

```
# vi rocky8live-builder
```

- --anaconda-arg="--product Rocky Linux" を付け加える
- 8.3 -> 8.7 に変更

--- 拔粹 ---

livemedia-creator \

```
--ks ${kickstart} \
```

```
--no-virt \
```

```
--iso-only \
```

```
--make-iso \
```

```
--nomacboot \
```

```
--volid RockyLinux-8 \
```

```
--iso-name "Rocky-8.7-x86_64-LiveGNOME.iso" \
```

```
--title "Rocky Linux Live 8.7 (JP)" \
```

```
--project "Rocky Linux Live" \
```

```
--releasever "8.7\ \JP\)" \
```

```
--fs-label "Rocky-8-7-x86_64" \
```

```
--extra-boot-args noswap \
```

```
--tmp ${temp} \
```

```
--resultdir ./${resultdir} \
```

```
--logfile ${logdir}/${logfile} \
```

```
--anaconda-arg="--product Rocky Linux"
```

(5) 実行する

```
# ./rocky8live-builder kickstarts/rocky-8-live-gnome.cfg
```

今回は、

el8-livemedia-japanese の kickstart ファイルを利用しましたが、

kickstartファイルを自分好みに作成すれば良いと思います。

添付ファイル::

Linux

一意的なソリューション ID: #1037

製作者: n/a

最終更新: 2023-04-19 22:57